

4月の都内経済状況



営業開発部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		4月の都内の景気は、一部に弱い動きも見られるが、緩やかに回復している。百貨店の売上は減少したが、スーパーとコンビニエンスストアの売上は増加した。乗用車販売は6ヵ月連続で前年を上回った。住宅着工は2ヵ月ぶりに前年を下回り、公共投資は5ヵ月ぶりに前年を上回った。輸出は6ヵ月連続で前年を上回った。有効求人倍率は2ヵ月連続で上昇した。工業生産(3月)は2ヵ月ぶりに前月から減少した。29年1~3月期の設備投資と経常利益は前年を上回った(関東大企業)。
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は一部に弱い動きも見られるが、引き続き緩やかな回復が期待される。新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、アメリカの政策動向、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。
個人消費費	百貨店売上高	 百貨店売上高は、前年同月比▲0.5%と9ヵ月連続で前年を下回った(既存店ベース)。主要5品目のうち、雑貨は化粧品の好調などから引き続き増加したが、その他の衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品は、いずれも前年を下回った。
	スーパー売上高	 スーパーの売上高は、前年同月比3.4%増と2ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から2.6ポイント拡大した(既存店ベース)。
	コンビニ売上(関東)	 関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比3.1%増と50ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から0.4ポイント拡大した(全店ベース)。麺類等の暖かい商品や店内調理品等の販売が好調だった。
	乗用車登録台数	 乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比3.3%増と6ヵ月連続で前年を上回った。車種別では、普通車(同▲2.9%)は4ヵ月ぶりに前年を下回ったが、小型車(同8.6%増)は6ヵ月連続で、軽乗用車(同14.3%増)は4ヵ月ぶりにそれぞれ前年を上回った。
住宅建設	 住宅着工戸数は、前年同月比▲12.1%と2ヵ月ぶりに前年を下回った。利用関係別では、持家(同2.3%増)、分譲一戸建て(同1.5%増)は小幅に増加したが、分譲マンション(同▲24.2%)、貸家(同▲9.6%)が減少した。	
公共投資	 公共工事請負金額は、前年同月比75.6%増と5ヵ月ぶりに前年を上回った。発注者別でも、国(同215.7%増)、独立行政法人(同330.7%増)、東京都(同39.1%増)、市区町村(同9.4%増)、地方公社(同12.1%増)がいずれも増加した。	
貿易(東京税関管内)	 東京税関管内の輸出額は前年同月比12.4%増と6ヵ月連続で前年を上回った。主要地域別では、EU向け(同▲7.3%)は減少したが、アメリカ向け(同5.7%増)、中国向け(同19.9%増)、アジアNIEs向け(同10.0%増)、ASEAN向け(同13.3%増)が増加した。	
設備投資(関東、大企業)	 財務省「法人企業統計調査」関東財務局管内分大企業集計によると、関東の法人大企業(資本金10億円以上、金融・保険業を除く)の29年1~3月期の設備投資額は、全産業が前年同期比0.2%増、製造業が同▲4.3%、非製造業が同2.5%増となった。	
企業収益(関東、大企業)	 同上調査によると、関東の法人大企業(同上)の29年1~3月期の経常損益は、全産業が前年同期比69.4%増、製造業が同153.3%増、非製造業が同29.6%増といずれも増加した。	
労働需給	 有効求人倍率(季調値)は2.07倍と前月から0.01ポイント上昇した。有効求人倍率の上昇は2ヵ月連続。先行指標とされる新規求人数は前年同月比▲2.6%と6ヵ月ぶりに前年を下回った。南関東の完全失業率は2.9%で、前月から0.2ポイント上昇した。完全失業率の上昇は3ヵ月ぶり。	
企業倒産	 企業倒産件数は前年同月比32.3%増と2ヵ月ぶりに前年を上回り、負債総額も同47.0%増と2ヵ月連続で前年を上回った。1~4月累計の倒産件数を業種別に見ると、全体が同8.6%増で、サービス業(同37.1%増)、卸売業(同21.3%増)、飲食店・宿泊業(同52.8%増)、情報通信業(同1.6%増)などが増加し、小売業(同▲22.9%)、製造業(同▲5.6%)、不動産業(同▲7.4%)などが減少した。	
資金需要(銀行)	 銀行の都内向け貸出残高は前年同月比4.1%増と68ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から0.4ポイント拡大した。増加幅の拡大は2ヵ月ぶり。	

工業生産指数(季調値) ()は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比%	消費者物価指数 ()は前年同月比%	(一ロメコ) 訪都外国人旅行者数は過去最多の1,310万人 東京都の発表によると、2016年に東京都を訪れた外国人旅行者数は、前年比10.2%増の約1,310万人と、4年連続で過去最多を更新した(都内宿泊客は約988万人、日帰り客約322万人)。また、外国人旅行者の観光消費額(都内での消費総額)は、同2.4%減の10,880億円だった。
1月 93.2 (▲0.7)	1月 118.5 (5.1)	2月 99.4 (▲0.3)	
2月 93.6 (▲1.9)	2月 114.2 (2.8)	3月 99.5 (▲0.4)	
3月 93.4 (0.0)	3月 121.3 (0.4)	4月 99.9 (▲0.1)	

*工業生産指数・在庫指数は2010年平均=100、消費者物価指数は2015年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨